

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後 期 基 本 計 画	施策の大綱	Ⅳ生活環境の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 安全な暮らしを確保する	災害援護資金は、災害により、住居や家財に被害を受けた場合など、その世帯の立て直しを目的として設けられている貸付制度です。 当市では、平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害により被害を受けた世帯に貸付を行いました。 償還については据置期間が 3 年であることから、平成 30 年度より順次償還をしていただいておりますが、災害による被害の影響等から償還が困難な対象者がいるのが現実です。 市では、対象者が無理なく、確実に償還できるよう、個別相談をするなど、被災者に寄り添って事業を実施していきます。	対象者からの償還が無くとも、市は県に対し償還することになるため、個別相談を実施し、収入状況に応じた分割償還や少額償還、支払いの猶予などの対応や、連帯保証人への相談を行うことで、確実な償還に繋がります。 また、対象者の状況次第では、償還の免除についても県や国に働きかけを行っていきます。
	施策	1 防災		
	施策内容	被災者に対する支援		
	その他、拠法令及び分野別計画等	災害弔慰金の支給等に関する法律		
事務事業名	災害援護資金			

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	償還金納付資料送付 （R8・9・10）	債務者本人に対し、償還についての案内文、償還計画表、納付書を送付し、償還漏れが無いようにします。	送付件数（件）	30	10	千円	千円
					5		
②	償還督促・催告状発送 （R8・9・10）	納付期限を過ぎても償還がされない債務者本人及び連帯保証人に対し、督促状、償還計画表、納付書を送付し、償還を促します。	送付件数（件）	20	10	千円	千円
					5		
③	納付相談 （R8・9・10）	現在の償還計画では支払いが困難な対象者と個別面談を行い、収入状況等を勘案して分割償還や少額償還等の手続を行い、結果として償還に繋がります。	相談回数（回）	10	10	千円	千円
					5		
④	臨戸訪問 （R8・9・10）	督促を行っても償還がされない債務者本人及び連帯保証人に対し、対象者の状況に合わせ、個別に自宅等に訪問を行い、状況確認及び償還を促します。	訪問回数（回）	20	10	千円	千円
					5		
⑤	弁護士相談 （R8・9・10）	臨戸訪問等を行っても償還がされない対象者に対し、弁護士への委託による債権保全、支払督促等の手続を行います。	相談回数（回）	3	2	650 千円	千円
					2		
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度 目標値
①・②・③・④・⑤	償還完了件数（件）	貸付を行った件数全て償還いただけることを目標として事務を行っており、貸付から償還まで完結することで、被災者支援の目的も達成できるものと考える。	47 件	55 件		令和 9 年度 68 件
⑤	弁護士委託による償還金額（円）	法に基づき毅然とした対応をすることで、きちんと償還している方との公平性を保つことができると考える。	0 円	1, 000, 000 円		令和 9 年度 2, 000, 000 円

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	